

三重県のり情報

＜発行＞三重県漁業協同組合連合会 指導部

(住所) 三重県津市広明町323-1 (Tel) 059-228-1205

(HP) <http://www.miegyoren.or.jp/>
*ネット上で公開しています。「養殖情報ネットワークみえ」のトップページに入力があります。

【海況=22日・栄養塩動向調査結果】

＜水温＞各漁場の水温は7.8～10.6℃です。白子港の水温、比重ともに平年並みで推移しています。

＜プランクトン＞現在、植物プランクトンの発生している漁場があります。今後の動向に注意してください。

＜栄養塩類＞栄養塩量は、中勢地区を除く鈴鹿地区以南で少なくなっています。

【名古屋港の潮位偏差・毎時偏差速報値(気象庁)】

23日0時～10時現在、潮位図に比べて +15cm～+27cmで推移しています。

★情報収集、普及活動、試験分析担当

＜桑名～南勢明和＞津農林水産事務所水産室

(tel)059-223-5132

＜南勢伊勢～鳥羽＞伊勢農林水産事務所水産室

(tel)0596-27-5189

＜鳥羽＞鳥羽市水産研究所

(tel)0599-25-3316

＜試験分析等＞

三重県水産研究所鈴鹿水産研究室

(tel)059-386-0163

★本紙の無断転用・複写等は固くお断りします。

【お知らせ】

次回の栄養塩動向調査は3月1日(水)です。

*採水は2月28日(火)

り情報の発行は3月2日(木)の予定です。



数字は窒素量(DIN)です。[単位: μ]

○ プランクトン発生状況
()は細胞数 (cells/ml)
(注)正確な発生範囲とは一致しません。

《鈴鹿地区の状況・22日》

(下箕田・若松・白子)下箕田では一期作8回目、若松、白子では7～8回目生産中。葉体の伸びは鈍く、色調は低下傾向。下箕田では黒ばら海苔も生産中。

6回汐(2/24)出品数量:若松112万枚、下箕田108万枚、白子165万枚(鈴鹿地区計385万枚)

黒ばら海苔:下箕田1,312kg

《中勢地区の状況・22日》

(松阪)冷凍網2回目生産中。葉体の色は良く、伸びはまずまず。

6回汐(2/24)出品数量:中勢第2地区35万枚、松阪13万枚(中勢地区計48万枚)

《南勢地区(伊勢湾漁協)の状況・23日》

(下御糸・大淀)生産中。葉体の伸びは鈍く、一部で色調低下がみられる。
(今一色)支柱柵漁場は一期作12～14回目、冷凍網は4回目生産中。浮き流し漁場は11～13回目、冷凍網は4回目生産中。葉体の色、伸びともにまずまず。21日の強風で一部の網に被害が発生し、現在復旧作業中。

6回汐(2/24)出品数量:大淀206万枚、今一色344万枚(南勢地区計550万枚)

黒ばら海苔:大淀536kg

《鳥羽地区の状況・23日》

(桃取)一期作8回目生産中。葉体の伸びはまずまず、色調は一部で低下傾向。
(答志)一期作8回目生産中。葉体の伸びは鈍く、色調は一部で低下傾向。
(菅島)一期作8～9回目生産中。葉体は色、伸びともにまずまず。

6回汐(2/24)出品数量:桃取393万枚、答志417万枚、菅島404万枚(鳥羽地区計1,214万枚)

この時期の注意点等

先週に引き続き、栄養塩が少ない状況となっています。今後の動向に注意が必要です。

22日の調査では、中勢地区を除く鈴鹿以南で栄養塩が少ない状態が続いており、珪藻プランクトンも発生しています。今週は、降雨や強風が発生していたため、海況の好転を期待したいところです。

これから漁期終盤に向かいますが、摘採回数増加により生産性が低下してきた網は早めに撤去し、潮通りを良くして栄養塩の取り込みを効率的に行わせてください。また、天候が安定しない日が多くなっているため、体調や操業安全に十分気をつけながら生産を進めて下さい。

次回の栄養塩動向調査⇒3月1日(水)

6回汐(2/24)出荷数量
3,140万枚(2/22現在)

【三重県り情報(PDF版)はwebで見ることもできます】

『養殖情報ネットワークみえ』トップページ

<http://osakana-mie.com/>

【栄養塩動向調査が携帯電話で閲覧できます】

http://osakana-mie.com/cgi-bin/mie_gyo/user/phone.cgi

上記アドレスをbookmark登録してご利用ください。

または、右側の二次元バーコードをカメラ付携帯電話で読み取り表示されたアドレスにアクセスしてください。

*機種によっては利用できない場合があります。



★り情報はweb上で閲覧されることをお奨めします。※PDFファイルをご覧になるには、アドビシステムズ社のAdobe Readerが必要です。